

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット(ニレの木)・サム(傍)という意味で、わっさむの由来です。

第98号 2020年2月5日

発行/北海道和寒町議会 編集/議会広報委員会

新しい時代へ行進!

昭和40年 和寒小学校鼓笛隊

(表紙の説明は13ページ)



p2 議長年頭あいさつ

p3 こんなことが決まりました ～町立和寒病院無床化へ～

p4 生活はどうなる? ～事業見直し～

p6 町政を問う。一般質問に4議員が登場

p10 平成30年度決算委員会Q&A

p14 町民インタビュー “さずらん会

楽しく踊って体力維持”

新春を迎えて

和寒町議会議長 佐々木広行

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

町民の皆様におかれましては、令和二年の新春を、ご家族お揃いでお迎えできましたことに、心からお喜びを申し上げます。

また、日頃から議員活動にご理解とご協力をいただき、議員一同、深く感謝を致しております。

さて、令和元年を振り返りますと、「平成」の時代が終わり、新たな元号「令和」がスタートした年であり、和寒町においても120年にあたる節目の年でもありました。

基幹産業の農業においては、天候不順により農作物全般への影響が心配されましたが、概ね平年並みの作柄となり、安堵したところであります。

昨年からの集中豪雨による被害を受けた道路・河川等の復旧工事は、一部を除き終了しているほか、災害に備えて改修が進められているところであり、今後も計画的な河川整備による災害に強い町づくりが期待されるところであります。

今後の町立病院の診療体制や、高齢者福祉施設などの課題があり、町民の皆様が安心して今後和寒町で暮らしていただけるよう、町との協議を重ねより良い未来を形作っていくよう、議員一丸となって努めてまいります。

最後にになりましたが、町民の皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

最後にになりましたが、町民の皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。



議長 佐々木広行
副議長 中原 浩一

総務福祉常任委員会

委員長 酒向 勤
副委員長 下條 美恵
委員 中原 浩一
委員 谷口 勝弘
委員 小野田久美子

産業教育常任委員会

委員長 伊藤 明
副委員長 窪田 裕二
委員 中原 浩一
委員 石田 利美
委員 和田 智巳

議会運営委員会

委員長 石田 利美
副委員長 谷口 勝弘
委員 中原 浩一
委員 酒向 勤
委員 伊藤 明

議会広報委員会

委員長 谷口 勝弘
副委員長 和田 智巳
委員 下條 美恵
委員 窪田 裕二
委員 小野田久美子

議会選出監査委員

窪田 裕二

12月
定例会

活発な議論必要!!

～町立和寒病院無床化へ～

あらまし

12月定例会議(第4回定例会)は、令和元年12月19日から20日にかけて開催しました。19日は、町長の行政報告のあと、一般質問を行い4人の議員が登壇、補正予算の議案審議をしました。

補正予算

【国民健康保険町立和寒病院事業会計補正予算】
(8名賛成可決)

人件費の整理などに伴い、1000万円の減額補正を可決しました。

主な質疑

問 行政報告で無床化について聞いた。看護師を雇っていないことから改革プランは達成できていない。国の主導があるまで待ったのか。

答 収支・利用率の改善を図ってきたが難しいため病院の維持が厳しい。

厚労省は病床削減に補助金を出すとのことだ

が、現実的には詳しい情報が出てきていない。補助金がある無しに関わらず、和寒町として無床化はやっていかなければならないと思っている。

【一般会計補正予算】

(全員賛成可決)

人件費の整理や社会保険・税番号制度システム整備負担金に伴い、総額で3376万円の減額補正を可決しました。

【国民健康保険特別会計補正予算】
(全員賛成可決)

条例改正による職員各種手当のための補正を可決しました(増減なし)

【簡易水道事業特別会計補正予算】
(全員賛成可決)

(全員賛成可決)

20日は条例改正の議案審議の他、平成30年度決算の審査報告なども行ないました。また、選挙管理委員の選挙と人権擁護委員候補者の推薦について同意し閉会しました。なお、今定例会の傍聴者は延17名でした。

総額で9万円の減額補正を可決しました。

当選人となりました。
選挙管理委員

【公共下水道事業特別会計補正予算】
(全員賛成可決)

(全員賛成可決)

総額で5352万7千円の減額補正を可決しました。

選挙管理委員補充員

【介護保険特別会計補正予算】
(全員賛成可決)

(全員賛成可決)

保険事業勘定では71万9千円の減額補正、サービス事業勘定では39万円の増額補正を可決しました。

【人権擁護委員候補者の推薦】

藤村美穂氏(三笠)を人権擁護委員として推薦し、議会の同意を得ました。

選挙

【選挙管理委員の選挙】

選挙管理委員と同補充員の選挙は議長の指名推薦で行われ、次の方々が



▲藤村美穂氏

上げ！ 料化～

12月定例会で27の条例改正が行われ、令和2年4月から300項目以上の使用料手数料の値上げ・有料化が決まりました。

これにより約3000万円の財源確保になります。

パートタイム職員の給与は

条例の制定

【会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定】

（全員賛成可決）

公務員法の改正により臨時職員が会計年度任用職員に変わり、それに合わせ給与などを変更するための条例の制定を可決しました。

質疑

問 パートタイムの職員が65名いるということだが、その方々が今回の条例改正で不利益を被ることは無いのか。

答 年収については下がらないよう保証しながら移行していく。

問 パートタイム職員を正職員化する考えは。

答 臨時職員が地方公務員試験を受けて正職員になることは可能。



条例の一部改正

【和寒町片栗庵設置条例の一部改正】

（全員賛成可決）

消費税増税と物価上昇分10%相当額増の改定を可決しました。

質疑

問 冬、実態として片栗庵は使われていないようにだが、暖房料は必要なのか。

冬期間は使わないとい

うのも手だと思っが。

答 簡易ストーブで暖めて使用する予定だが、寒くて使用できないというところであれば、冬期間の利用は検討していかなければならぬ。

【和寒町農産加工センター設置条例の一部改正】

（全員賛成可決）

消費税増税と物価上昇分10%相当額増、施設使用区分による料金への改定を可決しました。

質疑

問 使用方法や用途によって、今までより高くなったり安くなったりするのか。

答 今まで作っていたものは、同じ値段の10%増で作れる。全施設を利用する新製品であれば、今までの上限額を超えることになる。

【和寒町立学校施設の開放に関する条例の一部改正】

（全員賛成可決）

消費税増税と物価上昇分10%相当額増の改定を可決しました。

質疑

問 学校開放について、学校側に報酬のようなものはあるのか。また暖房料は使った分だけという取り方はできないのか。

答 鍵の管理等を頼んでいるので、年間7万円ほど謝礼として払っている。

暖房料については、オンオフが簡単ではない施設もあるため難しい。



300項目以上値 ～緊急通報装置・土壌分析は有

土壌診断の有料化について

【和寒町農業活性化センター設置条例の一部改正】

(7名賛成可決)

町内の耕作地を土壌分析する場合に、診断手数料が発生する改定を可決しました。

質疑

問 町外者の使用は、どのような想定になるのか。

答 町外に後継者がいる場合や、町の境界で農業をしている人を想定している。今のところ町外からの依頼は無い。

問 土壌診断の結果を番号付けし、データ化していくのか。

答 令和2年度予算から、土壌診断のデータを集積し、依頼者に返せる

ような仕組みを作っていく。

また、活性化センターで分析したデータを蓄積して管理していく。



▲土壌分析装置

【和寒町手数料条例の一部改正】

(全員賛成可決)

他市町村の状況と現状により増額する手数料の改定を可決しました。

質疑

問 肝炎ウイルスの検査が無料になるといいますが、国からの補助金はあるのか。

答 肝炎ウイルスについて直接的な補助金はない。交付税で一部措置されている。

問 手数料・使用料を上げるが、その主旨については。

答 元々は事務事業の見直しとして行っている。将来にわたっての経済的な持続性のため、また消費税の値上げに対応して行った。

審査報告

中原浩一決算審査特別委員長から委員会審査の報告がなされ、採決の結果、一般会計、5特別会計、病院事業会計がそれぞれ賛成多数で認定されました。

決算審査特別委員会の内容は、10～12ページの「決算審査O&A」をご覧ください。

討論

条例の一部改正

※討論とは…他の議員を自分の意見に賛同させることを目的とする発言。

反対

石田 利美 議員

土壌分析有料化
土壌診断は農業において大事なことであり、非常に役に立っている。
有料化に伴い分析件数が少なくなれば、事業自体が何のために行っているのかとなり、有料化に反対します。

問 和寒小・中学校の給食に炊きたてのごはんを
答 こどもの減少など経緯も十分勘案し検討する



小野田久美子議員

和寒小・中学校の給食に炊きたてのごはんを

和寒町の基幹産業は農業であり、食育や地産地消という点からも、学校給食に比較的扱い易く、設備費用も抑えることが期待できる、家庭用電気炊飯器で地元産米を炊く、米飯給食を行えないか。

沓澤教育長

和寒小学校・中学校の給食は、現在土別市の学校給食センターからの配送方式で行われ、土別市では給食費の負担軽減の観点から、週2回家庭よりごはんを持参しており、本町でも同様に取り組んでいく。

給食となると、学校給食法、学校給食施行令および学校給食衛生管理の基準に基づいて実施することが求められる。

施設の面では、家庭用電気炊飯器であっても、学校に給食調理室のような場所があるかどうか、お米を保存する場所、炊飯器の衛生管理などの取り組みが必要になってくる。

なお、収穫時の時期に合わせ、食育、地産地消の授業として検討することは可能である。



▲滋賀県蒲生郡竜王町の家庭用電気炊飯器を使った学校給食

奥山町長

こどもと親とのつながりも含めて、すべてを給食にするのはいかなるものか。

給食費については、一部マスコミの報道で、各自治体によって相当給食費に差があり、こども達のおかずやデザートが減ってきている話があった。

土別市も和寒町も、こどもが減ってきているので、給食センター自体の運営も考えなければいけない。

これにいたった経緯も十分勘案し、検討する必要があると思う。

まちづくりの計画、対策は

政府・与党は、民間資金を取り入れ、地方創生をさらに推進しようとして、企業が自治体へ寄付した場合（企業版ふるさと納税）、減税効果を拡充し5年間延長する方針で本年12月、2020年与党税制改正大綱に盛り込む予定である。

国では今年「※SDGsアクションプラン2019」が発表されたが、建て替え時期にきている施設などに係る費用等に、このような制度を活用しては。

奥山町長

国では、SDGsを原動力とした地方創生を掲げ、地方創生を目的に、自治体におけるSDGsの達成に向けた取り組みを勧めている。

本町が抱える課題解決のために、企業版ふるさと納税を活用するためには、相当の厳しい要件を満たす必要があり、町として今後、事業選定をされている自治体の例も参

考に、研究したいと考える。

○要望

和寒町人口ビジョン平成28年の平成32年（令和2年）町独自仮定による推計人口は3,321人であるが、令和元年11月末現在の人口は、3,284人と既に減少している。

現在、建て替えや見直し、再編成が課題になっている案件を先延ばしせず、国の制度を巧みに活用し、和寒町の未来サイズにあつた、まちづくりを推進していただきたい。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
 世界を変えるための17の目標



※SDGsとは、持続可能な開発のための17のグローバル目標と169のターゲットからなる、国連の開発目標

谷口勝弘議員



問 協働のまちづくりでの町民の意見は 答 町づくりを考える場面を提供

町民参画とは

人口減少に伴う観光・教育
そして農業の行く末を多面的
な視点で考えながら、安心安
全で、将来的に住み続けられ
るまちづくりをするために、
町民の意見をどう取り入れて
いくのか。

奥山町長

国の地方交付税が年々減少
しているなか、事業の見直し
に着手している。

町立病院の無床化など、改
革に取り組んできている。

第6次総合計画を作成する
にあたり、町民アンケート調
査や、町政懇談会、各種会議
などで町民の意見を計画に反
映することとしている。

○再質問

使用料手数料の有料化や値
上げはどのようにして、周知
するのか。

総務課長

12月27日に細かい内容を別
冊の一覧表で配布する。

○再質問

水道料金がどう変わるか
は。

建設課長

各家庭で使用水量がわかる
と思う、その水量ごとに値段
を記載してお知らせする。

重量金制度に変更している
ので、使った量に応じた料金
体系になり、それが大きな変
更点となる。

○再質問

ゴミの分別・有料化はこれ
からどう変わるのか。

住民課長

生ごみは今回、10リットル
で10円の引上げ、20リットル
で、5円の引上げになる。

現在粗大ごみは、愛別町で

処分の委託をしているが、有
料化を検討している。

埋め立てゴミは、愛別町に
ある焼却処分場で、できない
か協議を進めている。

ゴミの分別の形・収集する
袋・曜日などをどのようにす
るのか現在検討中である。

燃えないゴミは必ず分別し
て、西和の処分場へ埋めてい
くこととし、生ごみは愛別の
施設では焼却炉に入れている
が、和寒町は、剣淵町との共
同処理場があるので、それを
継続すべきと考えている。

愛別町に、委託処理してい
る自治体があるので、参考に
して分別を検討している。

○再質問

病院は「無床化する前にや
らなきゃいけないものがある
ら」という意見もあるが。

奥山町長

私が就任した時に「今病院
があること、お医者さんがい
ること、看護師さんがいるこ
とに感謝してほしい。それぞ
れ辞めても違う場所で働ける
ということを、和寒町民も理

解して大事に医療を守ろう。」
とお願ひした。

和寒町が病院を運営してい
くことが厳しいのは間違いな
いので、今回の判断になった。

○再質問

第6次総合計画作成にはア
ンケートに留まらず、住民主
体・行政主体とは何なのかを
考える機会にしてほしい。

奥山町長

自立した住民自治とは行政
に頼らないこと。

住民一人一人がまちづくり
のために何ができるかを考え
る場面を提供していくことが
行政の責務だ。



問 わっさむ町食と観光情報案内所の今後は
答 利用率向上に向けて努める



石田利美議員

観光情報案内所の
 今後は

昨年の12月に交流施設ひだまりのエントランスに、『わっさむ町食と観光情報案内所』がオープンして一年が経過したが、その成果と課題は。

多目的ホールの交流施設ひだまりと平成26年にオープンしたエココテージ、宿泊施設研修館楡の運営状況と利用率向上の新たな取り組みは。

奥山町長

商工会やJA北ひびきなど、オールわっさむで食と観光の連携を一層進めて各事業に取り組んでいる。

食と観光情報案内所については、本町の特産品の紹介、販売はもとより観光情報発信の拠点施設として、多くのマスコミや観光雑誌、生活雑誌などに掲載したこともあり、来訪者は約3千人となっている。

今後も、沢山の方々に案内所へ訪れていただけるように、広報誌やホームページ、町のフェイスブックなどで情



▲わっさむ食と観光情報案内所看板

報発信に努めていく。

エココテージの年間稼働率は40パーセント台で、今後も利用率向上に努めていく。

研修館楡の運営状況は団体数は年間概ね80から110団体が利用し、宿泊者数は2700人から3100人の間で推移している。

今後も利用率向上に努めていく。

○再質問

利用率向上のために、観光情報案内所の看板にエココテージの太陽光発電でライトアップし、環境保全とマッチ

ングしては。

また、交流施設ひだまりの内部の改修をし、観光情報案内所の売り場スペースを広くしては。

奥山町長

状況を確認して、今後検討させていただきます。

○再質問

研修館楡は建設してから30年近く経過しているので改修し、新たに個室などを設けて利用率向上を図っては。

查澤教育長

全て個室がいいのか大部屋がいいのか、今後検討させていただきます。

木質バイオマス事業の推進は

奥山町長はチップの製造の確保には課題が多く、現段階で事業拡大は難しいとしている。

しかし、木質バイオマス事業は、CO₂の削減、間伐材の有効利用、雇用の確保と有

効性がある。

今後、総合計画に反映すべくと思うが。

奥山町長

今後も引き続き、木質バイオマス事業を継続し、街路灯のLED化やごみの減量化など、二酸化炭素の排出量の抑制につながる地球温暖化対策について、総合計画に反映していく。



▲木質バイオマスチップ製造施設

伊藤 明議員



問 高齢者住宅等の除雪対策は
答 総合的な見地から検討したい

問 高齢者の移動手段の確保は
答 困難性が高いが研究したい

今後の高齢者住宅等の除雪対策は

高齢者除雪サービスの対象枠の拡大検討は。

奥山町長

町では、高齢や障害のために除雪作業が難しく、かつ家族等の労力・資金支援が困難な世帯に対し、収入額に応じた支援をしている。

これまでも作業単価や負担割合、支援期間の延長など利用しやすい様に見直しを実施してきた。

一方では、作業を請け負う方が減少傾向にあることで、事業の継続自体が課題となってきた。

近年は新公営住宅への移転から申請者も減少している。今後は総合的な見地から検討したい。

○再質問

現状と予算額は。

保健福祉課長

本年度は47名の申請があり、うち3名は収入が基準額より

多いため対象外となった。平成27年の対象者は66名で、4年間で22名の減。事業費は370万円の予算額で概ね300万円の支出予定。

○再質問

消費税と公共料金の増に対応する対応は。

広富副町長

医療費を含め、社会的に生活費がかさむ傾向にある。これらを自治体だけで担うことは難しいが、再度適切な制度になるよう検討したい。

○再質問

大通の除雪補助は。

建設課長

大通りは、商店への買物や通学路としての公共性が強く、平成8年から半額補助をしている。また、高齢者世帯にも補助を厚くしている。

高齢者の移動手段の確保は

車を持たない高齢者の移動手段は、バスとハイヤーだが、時間的な利便性を考えるとハイヤーが有効であり、お出かけハイヤー利用券の購入限度を拡大しては。

奥山町長

この事業は、平成26年度より実施し、これまで利用者の要望により利用券の購入限度を2倍の48枚としてきた。夜間や土日のハイヤー運行について、土別本社に出向き、和寒町の現状を確認したところ、運転手の確保や利用頻度を考慮しても採算が取れない状況が続いており、厳しいものと理解している。

○再質問

デマンドバス運行エリアを拡大し、道北バスエリアもふくめて、利便性の確保はできないか。

奥山町長

現在、民間バス事業者が運行していることから、陸運局の運用資格の認可を得ることは難しい状況であり、今後、

近隣町と連携してデマンドバスの利便性が拡大できないか研究したい。

○再質問

高齢者が移動手段を選択できる仕組みづくりは。

奥山町長

運行委託業者には町民や議会の思いを充分伝えており、業者も努力姿勢を示している。

ハイヤー補助額もひとり当たり2万円程度となっており、行政ができる範囲と個人が努力しなければならぬ範囲の線引きが難しいが、今のご意見も踏まえた政策を考えたい。



▲デマンドバス

魅力ある町づくりを

平成30年度の一般会計、5特別会計、病院事業会計の決算は、令和元年11月20日～22日の3日間にわたり、議長と議会選出監査委員を除く8名で構成された決算審査特別委員会（中原浩一委員長・下條美恵副委員長）で慎重に審議されました。

町民の生活に直接関係する事業の決算だけに、委員各位から活発な質疑があり、会計ごとに討論を行い、採決の結果、各会計とも賛成多数で認定すべきものと決定しました。

平成30年度 各会計決算状況 ※1万円未満切り捨て表記

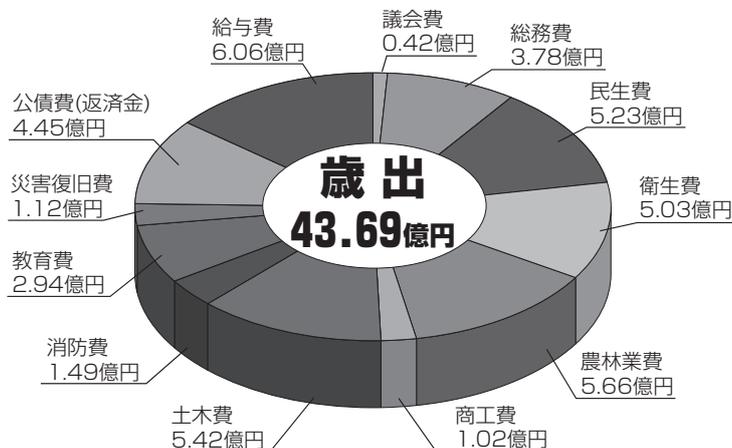
会計別	予算額	収入額	支出額	差引残額	
一般会計	43億6928万円	43億3306万円	421億6159万円	7147万円	
国民健康保険特別会計	5億5190万円	5億3565万円	5億2645万円	920万円	
簡易水道事業特別会計	23億444万円	22億9975万円	22億6914万円	306万円	
公共下水道事業特別会計	14億3852万円	14億4651万円	14億934万円	371万円	
後期高齢者医療特別会計	6680万円	6668万円	6644万円	23万円	
介護保険特別会計	保険事業勘定	5億9331万円	5億9018万円	5億8326万円	692万円
	介護サービス事業勘定	6312万円	6374万円	6279万円	94万円
合計	60億1872万円	59億6395万円	58億6839万円	9555万円	
町立和寒病院事業会計	収益的収入	4億5200万円	収益的支出	4億5093万円	
	資本的収入	1729万円	資本的支出	2960万円	

町民1人当たり

約128万2453円

前年度対比2万5964円減

一般会計



項目	金額 (円)	割合 (%)
議会費	1万2616円	0.98%
総務費	11万3685円	8.86%
民生費	15万7344円	12.27%
衛生費	15万1393円	11.80%
農林業費	17万315円	13.28%
商工費	3万764円	2.40%
土木費	16万3153円	12.72%
消防費	5万9089円	3.50%
教育費	9万3088円	7.12%
災害復旧費	1万626円	2.62%
公債費	13万7992円	10.44%
諸支出金	7円	0.00%
給与費	17万3531円	14.23%

決算審査 Q&A

ふるさとギフトは

ふるさとギフト

Q 和寒ふるさとギフト
返礼品のランキングと
レポート率は。

A 29品目の内、1位は
米、2位はジンギスカ
ン、3位はアスパラ、
4位はメロンとなつて
いる。レポート率は
12%。

マイナンバー

Q マイナンバーの町内
での普及率は。

A 令和元年度11月現
在、11・8%。

Q 全国平均は15%との
こと。国から努力義務
はあるのか。

A ノルマのようなもの
は無いが、普及計画を
出すよう言われている。

おでかけハイヤー

Q おでかけハイヤーの
チケット未使用が2・3
3枚もある。土日の営
業が無いことも要因な
のか。デマンドバスも

土日は無い。
今後どのように考え
ていくのか。

A 宗谷本線活性化推進
協議会や定住圏自立の
会議などで、バスにつ
いて考えている。

和寒だけだと人手の
確保が非常に厳しい。
それを含めた中で高齢
者の足の確保は、今後
の課題として関係首長
とも連携していく。

訪問看護

Q 訪問看護事業負担金
を払っているがその現
状は。

A 士別市からの訪問看
護を利用する方が月に
12〜13名あり、そのた
めに人件費等を負担し
ている。

Q 医師はどのように関
わるのか。また緊急時
は。

A 主治医からケアプラ
ンを指示され訪問す
る。
当初から見込まれる
場合は、緊急時の対
応を主治医、ケアマ
ネージャー、訪問看護
師、対象者家族の間で
前もって話し合ってい
る。

看取りはしていない。
い。

公衆トイレ

Q 公衆トイレは4つあ
るがほとんどが和式。
インバウンドも考
え、洋式が必要なので
はないか。

A 南丘公園は洋式にし
ていくように取り組ん
でいる。
一度には無理だが、
順に洋式化を進めてい
きたい。

農村生活体験実習

Q 人が来ないのは事業

内容が今のニーズに
合っていないからでは
ないのか。



A 昔は農業後継者の結
婚が目的だったが最近
はそうではない。
定住してもらえず地
元に帰られても、和寒
町の良さを広めて貰え
ばそれも成果。

実績として来てもら
うのが一番大事。

有害鳥獣対策

Q カメラを使って有害
鳥獣の調査をするとの
ことだったが、進展は。

A 箱罠とカメラを設置
して観察している。
熊はまだ確認できて
いないが、キツネなど
確認している。今後も
続けていく。



こどももの国の今後は

こどももの国

Q 運営を止めたいという話だったがどのような考えか。

A 交流人口10,954人のうち、ゴールデンウィークのみで6,000人もあり、大切な施設であるが、大金を投じて遊具の更新をするのかどうかは課題。

Q 予算を少しずつつとめて維持管理していく考えは。

A 今一番大切な問題は病院や福祉の関係。こどももの国も大切な施設ではあるが、病院と福祉の大きな問題を乗り越えなければならぬ。

Q ペポタルトのロイヤリティが減っているが今後は。

A 6個入りの箱売りとして3個のパック売りがあるが、現在6個入りの箱については製造しない予定だと聞いています。他の特産品に関わる商談なども食品会社などとしている。

三笠山自然公園

Q 三笠山の桜とカタクリが減っている。植栽の計画は。

A 植栽計画は無いが、周りの木を伐採して管理している。カタクリの群生については、場所に変化が出ている。

特産品について

Q オープンから相当数の人が来てくれている。町内町外の方が半々の割合で利用されている。町内の方からは特産品をまとめて1カ所で買えるためありがたいとの声もいただいている。売り上げも当初予定より上がっている。

食と観光情報案内所

Q 昨年の12月にオープンしてからどのような状況なのか。

時代の変化の中、人材不足、インフラの老朽化など多くの問題がある中、人口減少に対しての違う角度からアプローチしているのが見えているので、その部分は評価できる。根本的な改善をこれからも頑張ってもらいたい。

反対

弘 勝 議員
谷口

一般会計

討論

今回の決算委員会だけというわけではないが、人口減少対策に関する行政全体の体質というものを変えていかなければならないと考える。危機感を持った予算の編成をしていただきたい。

反対

美 利 議員
石田

病院会計

奥山町政になってからの6年間、病院の改革を期待してきた。改革プランも作ったが、成果は上がっていない。奥山町長の任期はあと3年残っており、早期の改善を期待する。

賛成

勤 務 議員
酒向

賛成

勤 務 議員
酒向

医療介護福祉全体的に困難な状況で、町立病院も入院患者の減少で中々改善に向かっていないという中で、町立病院の維持をよく頑張っている。これからの期待している。



みんなで作る議会

議会活性化等特別委員会

9月定例会において、今後の議会運営を見ずえ、議会活性化等特別委員会を設置することが決まり、令和元年10月29日、同年12月13日に開催されました。

平成31年の統一地方選挙における、和寒町議会議案は、選挙当日の午後まで、定員割れの可能性もありました。

結果的には定数が満たされませんが、和寒町に限らず地方議員の成り手不足の問題がクローズアップされており、今回の統一地方選挙において全国で8町村、そのうち北海道の4町村が、1971年以降過去最多の定数割れとなり、地方議員の在り方が問われています。

今後の和寒町の人口推移を踏まえた上で、議員定数等の研究をすること

や、これからの議員報酬などを議論して、議員の身分を見つめ直すことにより、議会活動の活性化を図ることが求められます。

また、勉強会や視察をより活発に行い、行政に対しては、議員のみならず町民の意見も踏まえた政策提案型の仕組みをつくり、みんなで行政に對峙できる体制に特別委員会を介して構築していきたいと思えます。

多くの町民が議会に関心を持ち、参画してもらえよう和寒町議会として、さらなる飛躍のために特別委員会を設置して、目的の達成を推進していきます。



1月24日開催

第1回町議会臨時議会

条例改正

【和寒町農村体験研修施設の設定及び管理に関する条例の一部改正】
(全員賛成可決)

農村体験実習施設「ふれ愛の里」の施設使用料を、新規就農研修生は月額1万2千円とし、農村生活体験実習生、新規就農研修生のほか、国等が実施する研修生の利用も可能とする改正。



▲ふれ愛の里



一般質問の動画を配信しています。ホームページから閲覧することができます。

<https://www.town.wassamu.hokkaido.jp/>

ご意見は
mail : gikai@town.wassamu.lg.jp

閲覧統計

- 令和元年度9月定例会 一般質問6名
- 公開期間 10月10日～11月10日
- ・総視聴回数 200回
- ・平均視聴回数 33回 (一人当たり)
- ・総再生 時間 25時間45分
- ・平均再生時間 4時間20分 (一人当たり)

表紙の説明

「和寒小学校校鼓笛隊」
昭和40年に完成した校舎を前で、元氣に行進する和寒小学校鼓笛隊。

和寒小学校の他は、中和小学校が、昭和42年、東和小学校が、昭和36年、大成小学校が昭和41年、に編成されました。

全国的にも、この時期から鼓笛隊が盛んになっていて、戦後、経済的にゆとりができ、感性や情操・忍耐・我慢・協調性などが育成されました。





町民インタビュー 間かせて

楽しく踊って
体力維持

日本現代舞踊徳本流すずらん会
(浜田友子会長) が発足して59年。
教室にお邪魔し、会員のみなさん
にお話を聞かせていただきました。



会の発足は？

昭和37年、和寒町文化
団体連絡協議会設立時
に、すずらん会が発足し
来年は60年を迎えます。
文連の中では、一番古
い団体です。

最盛期は、子供の教室
が約18人、大人の教室で
約12人在籍していまし
た。

現在、和寒教室は本教
室(40年以上習っている)
3名、華教室(20年くら
い)3名です。

始めたきっかけは？

和寒町商工会婦人部や
農協婦人部、芳生苑など
で教わったので。

また、誘われて始めた
方もいらつしやいます。

会の活動は？

水曜日は本教室、金曜
日は華教室が午後7時か
ら午後9時まで、町民セ
ンターで練習していま
す。

町文化祭や、徳本流本
部の発表会や、イベント

など依頼があったときに
踊らせていただいております。

発表会の衣装は、手持
ちの物を借りあったり、
髪飾りなどは作ることも
あります。

今年4月から公共施設 の使用料が値上がりしま すが？

町外に比べたら、会場
は借りやすく、金額は安
く、整備もされている
ので、和寒は恵まれている
方だと思えます。



現代日本舞踊の魅力 は？

約2か月ごとに、歌謡
曲(演歌など)で耳障り
のいい新曲を選んで踊り
ます。

有酸素運動ですし、歩
くのと違い、中腰になり
重心を低くして踊るの
で、足腰が丈夫になるよ
うです。

健康や体力維持のため、
踊ってみませんか？
やさしく教えますので、
初心者の方でも大丈夫
ですよ。

広報委員の一言

日本は、世界一少子高
齢化社会だそうです。

こうなることは、随分
前から予測できたのに、
十分な対策をしてこな
かったツケが今になって
露呈した状況です。

女性が社会進出をし、
せっかくキャリアが上
がっても、結婚・出産を
機に、仕事との両立が難
しいことがあります。

国は、女性に労働力を
求めて少子化を食い止め
たいなら、女性が働きや
すい環境として、家族環
境(夫の家事参加度)、
職場環境(就業時間や場
所の柔軟性)、地域環境
(託児施設)、法的環境(育
児休業など)を早急に対
応してほしいです。

町民みなさんの声を反
映できるように、まだま
だ勉強不足ですが、努め
ていかなければと思いま
す。

(久美子)